伯剌西爾時報
社報時報西剌伯 所行發
電話 七〇六四・七
社長 Director 作清石黑 M. Sameshima
新十六年 一ケ半 購讀料
新十三年 一ケ半 廣告は御照會次第返信
珈琲 サントス四級 十キロ 一九二〇〇 リオ七級 十キロ 休日
爲替 對日 四・七一五 對米 一九・八四〇〇 對英 七八・九七〇〇 振里送金 五・五〇〇

派生問題に拘はらず
大風一過平靜戻る衆議院
物にならぬ議長不信任案

（東京五日同盟日本）五日の議會は小山議長の責任問題を續いて依然難關逢着の觀あつたが、本會議劈頭、社大黨より議長の處置不十分足の意志表示があつたのみで、大風一過稀しくも定刻本會議を開き、國務大臣に對する質問演說が續けられた

然しながら質疑應答は依然生彩を缺き、議會はむしろ五日から返り初日と言つたところであらう。即ち貴族院は三日間の休みを了へて六日は午前十時より本會議を開き菅澤重雄氏（研究）松井茂（同和）阪谷芳郎（公正）の三氏が起つて質問演說を行ひ、又九時五十分より豫算總會を開き、愈々明年度豫算に對する本格的審議に入り中島彌團次（民）窪井義道（政、中島派）松本忠雄（民）安藤正純（政、久原派）の各氏が質問の陣頭に立ち、事變處理、內治、外交、戰時下經濟諸問題を俎上に、政府に肉薄、活潑な一問一答に議會本然の姿を現出するものと期待されてゐる又本會議は七後一時より開會國務大臣の演說に對する一般質問は濱野鐵太郎（民）河上丈太郎（社大）清瀨一郎（時局同志會）深澤豊太郎（政、久原派）多田嘉幸（第一）の諸氏の順で行はれ、同日を以つて一般質問を終了することとなつてゐるが、更に本會議と併行、午後一時から齋藤氏の懲罰委員會が開かれ、本格的審議を開始する。尙ノモンハン事件の經過に關する陸相の說明は兩院とも豫算總會に於て、又淺間丸事件の解決內容に就いては、兩院本會議席上、有田外相より報告說明が行はれる筈

重大時局に邁進

軍事扶助費八千七百萬圓

【東京五日同盟日本】衆議院豫算總會に於て可決された昭和十四年度追加豫算は、軍事扶助費增千九十七万五千圓でこの結果十四年度に於ける軍事扶助費總額は、八千七百八十六万九千余円に達する訳である、內譯次の如し（單位千円）

生活扶助一〇二五〇 醫療四八一、助產九、正業扶助二〇三、臨時生活扶助一三

獨人引渡要求殘し
淺間丸事件略々解決

【東京五日同盟日本】淺間丸日英交涉が一應解決を見るに至つたので六日の貴衆兩院本會議に於て右交涉經過並に解決內容に付報告說明を行ふと共に帝國政府としてはこれを以て日英交涉を打切るものではなく、引渡し洩れとなるべきことあるやも知れぬ抑留獨人に關しては引續き英國政府に對し引渡し要求を行ふ方針であることを表明することゝなつた、又日英兩國の各扶規的見解を明にせる双方の公文は五日午後公表の筈であつたが英國政府との打合せの都合上六日午後五時頃東京及び倫敦に於て公表されることに決定した

米の自給自足を急げ
高田耘平氏（民政）の質問

上げをする意思はないか　島田農相　本年內地における米穀の生産は　戰時下農村の勞働力の不足にも拘らず、各人が獻身的努力をなしたゝめ、早害地方を除く他の地方では、豐作であつた、全國民はこの努力を察し、出來得る限り節米して欲しい、硫安の供給に就いては政府は、農に方針を決定して農村に不安なからしめんとしてゐる、漁獵より移入するものに就ても　相當確保するため努力してゐる

【東京五日同盟日本】衆議院本會議（四日）高田耘平（民政）氏登壇、先づ米穀問題を提げて昭和十五年度產米の價格はこれを引上げるのか、この點を明にすることが國民の不安を一掃すると極めて重要である、政府は台灣、一期米を出來るだけ早く內地に於ける移入米を增產することについて如何なる見解を有してゐるか　事變によつて米の消費が頗る增大してゐるので、速かに日滿支を通ずる米穀計畫を確立して自給自足を計ることは緊要である、更に政府は食糧增產の方法として、河川、濕地、湖水池、國有林などの開墾に適するところは農民に拂下げ、或は貸

【東京五日同盟日本】齋藤隆夫氏の失言問題と關聯して、時局同志會、社會大衆黨及び第一議員俱樂部員は小山議長が職權を以て速記錄削除を行つたことは、先例を無視するものであるといふ理由により、小山議長不信任案を提出して、五日の本會議劈頭に議事日程變更の緊急動議を提出成立せしめんとする空氣が動いて居り、時局同志、社大兩派では五日午前院內に於いて打合會を開くことになつてゐる。然しこの間題に對しては民政黨は固より、反對の態度を表明してゐるし、政友會兩派に於ても亦本筋の齋藤問題が落着した以上、議長の責任問題等は云々してゐる場合ではない、重大時局に際會して議會は派生的の問題に捉はれることなく本質的の職責を盡すことに向つて邁進すべきであるとの意嚮を有してゐるので、議長不信任案は本會議に上提に至らないこと確實となつた

軍事扶助費八千七百萬圓

【東京五日同盟日本】衆議院豫算總會に於て可決された昭和十四年度追加豫算は、軍事扶助費增千九十七万五千圓でこの結果十四年度に於ける軍事扶助費總額は、八千七百八十六万九千余円に達する訳である、內譯次の如し（單位千円）

生活扶助一〇二五〇 醫療四八一、助產九、正業扶助二〇三、臨時生活扶助一三

獨人引渡要求殘し
淺間丸事件略々解決

【東京五日同盟日本】淺間丸日英交涉が一應解決を見るに至つたので六日の貴衆兩院本會議に於て右交涉經過並に解決內容に付報告說明を行ふと共に帝國政府としてはこれを以て日英交涉を打切るものではなく、引渡し洩れとなるべきことあるやも知れぬ抑留獨人に關しては引續き英國政府に對し引渡し要求を行ふ方針であることを表明することゝなつた、又日英兩國の各扶規的見解を明にせる双方の公文は五日午後公表の筈であつたが英國政府との打合せの都合上六日午後五時頃東京及び倫敦に於て公表されることに決定した

その他一六 計一〇九七五

動くソ聯の食指

列強共倒れを策し
全歐赤化の魔の手
ピーター大帝の政策踏襲

クレムリンが「實面攻勢」と、一時に進めるもの、まさに二百二島の目的を達し得られるわけである。帝國政策領の失地回復を目指しての進出に當り、バルチック方面に對しては脫兎の勢ひもの凄く、バルカン赤化作戰であるとしなければならぬ。しかも、右の中の「近距離標的」でもある。即ち衞露領の失地回復と、帝國主義列强の「實面攻勢」とを、一時に進めるもの、まさに二百二島の目的を達し得られるわけである。かうなつて來るとスターリンの進出に當り、バルチック方面に對しては脫兎の勢ひもの凄く、バルカン赤化作戰であるとしなければならぬ。しかも、右の中の

一九一七年の日米外交と支那問題

石井ランシング協定外交文書近く國務省より發表

【華府四日同盟日本】加藤特派員發、確聞するに國務省では一九一七年の石井ランシング協定に關する外交關係文書を、こゝ一、二週間中に公表することになり、日米外交、殊に支那問題に關するこれまで知られなかつた折衝の經緯がこれによつて明にされるであらうと謂はれてゐる。なほ右文書發表は、日米關係だけでなく、歐洲大戰裏面事情についても暴露するところが多いと觀られてゐる

壽ぐ紀元の佳節

【東京五日同盟日本】紀元二千六百年の輝く歴史に、一大豪華プロを全國並に海外同胞に中繼放送することに決定した

一入意義深い十一日の紀元節を奉祝するため、放送協會では三日來の結果十一日より一週間に亘りAK（東京）BK（大阪）MK（宮崎）ZK（熊本）の四放送局を動員して、講演に演藝に斯界の一流を網羅する

放送協會、豪華プロ成る

中繼、來內首相、近衛拳祝會々場講演、七時半より演藝、物語なほ十二日紀元節祭實況、二時五十分AK二千六百年記念式、同九時國民奉祝時間君ケ代、宮城遙拜、紀元節唱歌、二千六百年唱歌九時半、建國祭委員長永田秀次郎講演、午後零時五分海軍軍樂隊の奉祝吹奏樂、同一時靖國神社式典中繼、同二時橿原神宮より六日間名士の講演拜合中繼及朝鮮、台灣、滿洲、中南支の各地より講演演藝を中繼、最後の十七日夜は小國民の夕とし物語、童謠劇などを送る

日比谷公會堂の奉祝會繼

戰友の屍に埋れ前線死守

勝てり「陛下の兵」

南寧戰、三木部隊血涙の殊勳

【廣東四日同盟國】南寧攻略戰の最大殊勳は、南寧東北方地區の我が包圍殲滅戰は、愈々最高潮に達してゐる、去る十二月中旬より開始された敵白崇禧軍主力の地方各個合軍動員實に三十九個師十數万の雪崩の如き敵大軍の南寧每日戰は、執拗狂氣な逆襲連續であつたが、敵兵團の集結地區コンロン關に直接相對峙してゐた我が南寧方面軍の最前線一帶を死守した我が精鋭三木部隊の偉勳こそ、今次作戰の直接の勝因として讃えられるべきであらう　即ち敵大兵團は、コンロン關を制するもの、隨つて南寧を制したるに等しとの宣傳を反復し絕えず兵力を增强しつつ九塘附近より我が部隊前面に雪崩を打つて逆襲を試みたのであつたが、皇軍今次の總反擊の無敵振りは、敵主力の捕捉殲滅にあつたため　我が精鋭は完成するや、斷然起つて進擊、驚愕自重　敵を引つけるだけ引きつけてこれを唯だ同地近傍に抑留して友軍の諸兵團が最も重視せるコンロン關は忽ちにして皇軍の掌中に歸し、成ずるのを待つてゐたのであつた、かくて時期到來、三日友軍の二個三個に亘る包圍網

臨河の殘敵を掃蕩

寧夏方面敵早くも動搖

【五原五日同盟日本】岩田快速部隊は臨河入城に引續き、附近殘敵掃蕩中であるが、寧夏方面の敵は、我が監視戰に極度の動搖を示し、防禦戰勢の準備に關起となつてゐる

米、駐佛大使歸國

要路榮轉の噂專ら

【ブラッセル五日駐在同盟日本】佛國駐在北米大使ブリットは本日巴里を出發しボアヂウスに向ひ其處よりリスボンに至りて、空路クリーパー號にてワシントンに歸朝した、此のブリット北米大使の急な巴里出發は米大使の急な歸朝に關聯して種々の憶測を生んでゐるが、同大使は今回の歸朝に關し何等の聲明をも發表せず、從つて其の眞相は全く不明であ

近づく紀元の佳節

あれから

◇……國を擧げてひたる歡び

大陸の聖戰に鉾燦として輝き四百余州皇軍の威武に全くなびく時、めぐり來たる建國の佳き日よ——しかも悠久二千六百年を迎へてこの日の意義一入深く敬虔、至誠を捧げて生を皇國に享けた歡びにひたらんとする一億民心は數日後に迫つた、國を擧げての大祭典に胸しきしめられるような感激を覺えてゐる

此處ブラジルでも出先官憲、在留民が力を協せこの日を意義づけるべく種々のプランが進められてゐるが、總領事館では當日館内に於て遙拜式、日本クラブに於て祝賀會等を主催する事になつてゐる、他地方に於いては地方の事情に應じて然るべく奉祝の意を表すべく總領事館では種々手配を進めてゐる由

列車と自動車衝突！

重輕傷者三十余名

氣遣ふ日伯シネマ社主

去る三日モアナ線イツペラーバ驛附近（場所時間その他詳細不明）に於て列車と乘合自動車（カミニョンとの說もあり）の衝突事件が惹起、車輛傷者卅餘名を出した由、右負傷被害者の中には日伯シネマ社員二名が入つてゐる樣、右の由を日伯シネマ社に傳せば不在の齋藤社長に代つて野村文配人が左の如く語つた

去る三日モアナ線イツペラーバ驛附近（場所時間その他詳細不明）に於て列車と乘合自動車（カミニョンとの說もあり）の衝突事件が惹起、車輛傷者卅餘名を出した由、右負傷被害者の中には日伯シネマ社員二名が入つてゐる樣、右の由を日伯シネマ社に傳せば不在の齋藤社長に代つて野村文配人が左の如く語つた

とにかく事故が起きたことは事實です、それでいま心配してゐる處なのですが、確實な報らせがまだ無いので何ともお答への仕樣がありません、電報がもう來る頃ですが……

社員の安否

金を出せ!!!

突然・暗闇から怪漢

いつの間にかグルリと取巻かれ縮みあがつた通行人

支那人殺し

近く判決言渡し

一昨年、カルナバルに浮き立つ人心を戰慄の底に叩き込んだ支那人飯店四人殺し事件の大詰が愈々近づいた結果アリアス・オリベーラが眞犯人として極刑に處せられるらしい

豪華なレセプション

來る廿四日サントス入港豫定の大阪商船會社豪華船ぶらじる丸のレセプションはリオ港で二日、サントスで三日間盛大に催される事になつてゐるが、サントスで催される初日にはパーロス州執政官を始め政府の高官連も招待する事になつて居る

◇二月廿四日正午内外人名士朝食招待

二時—五時ブラジル人小學校生徒の内見學

◇二月廿五日　内外人招待カクテル・パーテー

午後日本人小學生徒の船内見學

◇二月廿六日　一般に解放

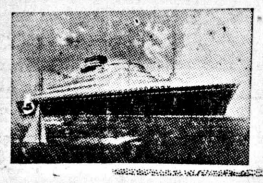
◇二月廿八日日本に向けてサントス港を出帆するまんとす丸、山下汽船の龍溝丸がぶらじる丸と前後して入港するので招待日にはサントス港は日の丸商船で埋まる事であらう

官らを招待

バーロス執政

聲のび歡る躍

"世界一周"



近づくにチブス發生

▼……戰々兢々のイタケーラ一帶

昨今の氣候不順の結果各地に惡疫流行、わけて惡性マレッタの襲延甚しく恐怖時代を現出してゐるが數日前近郊イタケラー驛に邦人少女の眞性チブス患者が發生、續發後三日にして花の雫を散らしたがこの他にも疑はしき患者數名あり附近一帶に一大センセーションを捲き起してゐる

當地日伯會では直ちに係官を派しイタケーラ小學校に於て豫防注射に當らしめてゐるが狼狽の氣味も知らぬ人間が、しかも歐洲はフインランドに多數住んでゐるとはまるで驅みたいな話である

邦人少年轢かる

バカエンプー大通りで

去る四日午後四時半頃市内バカエンプーの大通りを通行中だつた山本某（十五）少年は折柄橫合から疾走し來つた自動車に刎ね飛ばされ重傷を受けたが生命に別條なき模樣

文字通り浮世離れて奥山住ひ

オヂラの音に腰拔かす

嘘みたいな呆れた部落民

五ヶ所に支店開設

躍進一途フラ拓銀行

海興銀行が北巴ロンドリーナに最初の支店を開設、奥地戰"に乘り出すことになつたことは既報の通りだが"奥地戰"ではずつと兄貴株であるブラ拓銀行では負けるものかとばかり今度ポンペーア、ロンドリーナ、リベロン・プレット、リンスの五ヶ所に支店を增設、金融界の（ゲモニー）確保に乘出すことになつた　西獨支配人は語る

おかげさまでブラ拓銀行の基礎も隨分將來の見通しもつきましたので茲で本腰を据えガッチリやる爲五ヶ所に支店を設けるとゝもにマリリア、アラサツーバを始め既設支店もこれまでの借家を廢し自分のものでやることにしました、土地建物の買收も既にすみ目下新築又は改裝中です云々

カルナバルルバナ

「拾ひ歩き」種々集

日本の豆電球も朗に活躍

影ひそめた"丹下左膳"

▲サンジョンの大通全長五キロの間に點けられた幾千の豆電球は全部日本製だとは何とまあ嬉しい話ぢやゴハせんか

▲カルナバルと云えば仮面よ、仮裝よ、で下宿のおかみさんだつて、あれ〳〵の着物に大刀をたばさんだ"仮張り武士"？が、いい、だから云ではないこつちやない、あれはどランサ、ベルフーミ（番水）は娘子に取つて危ない代物だと云つてゐたものだが、今年はいまの處そんなこともなくユーモラスな仮裝行列が見えなくなつた、よろ〳〵とする處を後から來た俘かれ自動車に刎ね飛ばされ重傷を負つた

▲ベイア街道にピロードの長髪に比べて仮裝も少くテーブやベルフーミの賑れ行きも乘常に劣らないと云ふ、まあけにこの天候、これ程にない寒いいカルナバルで終始したうだ

▲富田家さんも青柳さんも「今年は時節柄極手にやるなつたと云ふ調ちやないけど……

ラオラ・サポエアと呼ぶ二八娘、ベルフーミが眼に入つて瞬間眼が見えなくなつた、よろ〳〵とすると云ふ後から來た俘かれ自動車に刎ね飛ばされ重傷を負つた

▲不景氣のせゐだらふ……例年に比べて仮裝も少くテーブやベルフーミの賑れ行きも乘常に劣らないと云ふ、まあけにこの天候、これ程にない寒いいカルナバルで終始したうだ

▲黒ちやんのみが我が世の春を謳歌してゐる、三百六十五日のうち黒ちやんが「黒い日」を感ぜずにすむのはこの四日間だけ——

それでも若い女給さんはめい〳〵假裝を凝らして練り歩きヤマト・ナヂシコの存在をはつきりさせた

ホラー服用者の黒ちやんが手拍子、足拍子面白く踊つてゐるよ

二百萬圓の大手術

宛ら"鐵屑山"の英船、二年ぶり

靖川丸更生、近く處女航海へ

マニラ沖で十日間燃えつづけ消火の爲め目沈した點とは名のみで開纜の山と化した巨船を二年の歳月を費して一大修理を加へ、起死回生の壯擧に成功、世界造船界をあつと驚かせた靖川丸更生、近く處女航海へ

一昨年マニラ沖で十日間燃えつづけ消火の爲め目沈した點とは名のみで開纜の山と化した巨船を二年の歳月を費して一大修理を加へ、起死回生の壯擧に成功、世界造船界をあつと驚かせた靖川丸更生、近く處女航海へ

靖川丸更生、近く處女航海へ

宛ら"鐵屑山"の英船、二年ぶり

二百萬圓の大手術

マニラ沖で十日間燃えつづけ消火の爲め目沈した點とは名のみで開纜の山と化した巨船を二年の歳月を費して一大修理を加へ、起死回生の壯擧に成功、世界造船界をあつと驚かせた

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director M. SAMESIMA

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno. . . .60$000
" Semestre . .30$000
Numero do dia . . . .300 reis
Gerente S. KUROISHI
Redator-chefe M. YENDO

ANNO XXIII — S. PAULO, — TERÇA-FEIRA 6 DE FEVEREIRO DE 1940 — DIARIO No. 2099

A aviação allemã realizou hontem novo ataque contra navios, na costa ingleza

NOVE VAPORES MERCANTES ARMADOS, UM CAÇA-MINAS E QUATRO NAVIOS-PATRULHA FORAM POSTOS A PIQUE

BERLIM, 3 (Domei — Agencia japoneza) — Urgente — Annuncia-se que aeroplanos allemães atacaram e afundaram hoje, no Mar do Norte, nove vapores mercantes, um caça-minas e quatro navios-patrulha.

COMMUNICADO OFFICIAL ALLEMÃO

Os atacantes perderam tres apparelhos

BERLIM, 3 (Domei — Agencia japoneza) — O communicado official, hoje divulgado, communica que os apparelhos germanicos destruiram, nas costas britannicas, um busca minas; quatro navios encarregados da vigilancia; nove vapores armados que viajavam sob a protecção de comboio.

Os allemães perderam tres aviões.

COMMUNICADO DO MINISTERIO DO AR DA INGLATERRA

LONDRES, 3 (Domei — Agencia japoneza) — O Ministerio do Ar communica:

«Varios aviões inimigos approximaram-se hoje pela manhã da costa norocste, atacando diversos navios. Os apparelhos de caça da Royal Air Force levantaram vôo e effectuaram uma barragem intransponivel.

Ao largo da costa de Yorkshire, bem como em Northumberland, dois aviões inimigos foram postos fóra de combate pelos nossos apparelhos de caça. O primeiro cahiu ao mar e o segundo ficou sériamente damnificado».

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza.

REVISÃO DO TRATADO COMMERCIAL ITALO-GERMANICO

Consequencias provaveis da actual visita do delegado allemão sr. Karl Clodurs a Roma

A disputa dos paizes belligerantes pelo petroleo da Rumania

A chegada a esta capital do representante commercial do Reich, sr. Karl Clodius, se relaciona, segundo informam os circulos allemães autorizados, com o proposito de modificar o tratado commercial italo-allemão, afim de ajustal-o ás necessidades surgidas com irromper da guerra no continente.

Embora as espheras officiaes allemãs não concedam grande importancia a essa visita — declarando tratar-se sómente de uma das costumeiras entrevistas que realizam os representantes commerciaes da Allemanha e da Italia, — o facto de que o dr. Clodius tenha chegado a esta capital logo após obter estrondoso exito, em suas negociações com o governo de Bucarest, é relacionado, nos circulos franco-britannicos bem informados, com a intensificação da rivalidade entre os paizes belligerantes, interessados em obter vantagens commerciaes por intermedio da Italia.

Do mesmo modo o facto de que a chegada do dr. Clodius tenha coincidido com a indignação manifestada pela imprensa anglo-franceza, pela decisão do governo de Bucarest, de fiscalizar todas as jazidas de petroleo nacionaes, para cumprir os termos do tratado de commercio que firmou com outros paizes, causou grande impressão nos circulos estrangeiros, tendo os jornaes italianos, em extensos commentarios, hoje, se referido aos accordos concluidos nos Balkans e, em particular, com a Rumania. Na opinião desses jornaes, a polemica e a supposta pressão diplomatica que Paris e Londres exerceu sobre Bucarest constituem verdadeiro attentado á soberania rumena. Ao mesmo tempo, os jornaes romanos aproveitam-se da occasião para affirmar que a Italia é a unica amiga pacifica e desinteressada dos paizes balkanicos.

Nos circulos autorizados, declarou-se que a Italia pode assumir o papel de arbitro, no que diz respeito á rivalidade, pelo petroleo da Rumania, mesmo porque seus interesses estão muito bem protegidos.

As ultimas estatisticas publicadas, sobre as importações italianas de petroleo rumeno, correspondem ao anno de 1939 e indicam que a Italia importou 445.717 toneladas de petroleo crú e refinado e 77.159 toneladas de oleo.

Como se sabe, a Italia firmou um accordo com a Rumania, pelo qual este ultimo paiz lhe fornecerá determinada quota annualmente. Mas, o mais interessante é que a Companhia de petroleo subvencionada pelo governo empregou enormes capitaes nas jazidas rumenas do precioso liquido. Não obstante a fiscalização da producção e da venda do petroleo pelo governo rumeno, Roma não alimenta o menor temor de que a sua quota venha a lhe faltar, em qualquer das hypotheses.

As ameaças rhetoricas dos alliados

Os alliados continuam a ameaçar os paizes neutros do Mundo, empregando a maior offensiva de discursos de todos os tempos, em logar da de artilharia no campo de batalha.

«A Allemanha, diz o Sr. Daladier, procura implantar no mundo um dominio absolutamente differente do que a Historia registrou».

Esqueceu-se, entretanto, o sr. Daladier de dizer que os primeiros que implantaram no Mundo um dominio differente, foram os alliados, com o famoso e injusto Tratado de Versalhes e de cujas consequencias o Mundo soffre até hoje os mais desastrosos resultados.

Os alliados continuam no firme proposito de serem ajudados pelo Mundo, mas, o Mundo tem a experiencia cara e dolorosa da Grande Guerra, onde sómente os interesses da Inglaterra e da França entraram em linha de conta.

A Belgica tem queixas amargas dos alliados e a Italia até hoje espera as suas justissimas reivindicações, tendo soffrido o maior cerco economico que a historia registrou, encabeçado pela Inglaterra, durante a guerra da Abyssinia, porque a Grã-Bretanha tinha tambem as suas pretensões naquella rica região do Continente africano.

A França e a Inglaterra já communicaram ao governo romaico que ambas seriam obrigadas a suspender as suas relações economicas com a Rumania, a menos que seja conseguida uma solução satisfactoria para actual questão do petroleo.

A Inglaterra está atacada de duas grandes manias: quer ser ajudada por todos e está vendo fantasmas em toda a parte.

«Segundo informa o «Daily Sketch», as autoridades britannicas chamaram a aattenção dos governos da Belgica e da Hollanda para o facto de diversos jornaes belgas e hollandezes — alguns dos quaes subsidiados pela Allemanha — publicarem regularmente boletins meteorologicos circumstanciados, com a direcção dos ventos e as temperaturas reinantes na Grã-Bretanha e na Escossia, permittindo assim o Ministerio do Ar do Reich obter todas as informações que deseja sobre as condições atmospfericas da Grã-Bretanha».

A Inglaterra [illegible] isso quer preparar um novo [illegible]icado de controle para a [illegible]mundial, como já o fez com [illegible]avicerts» para o commercio maritimo dos neutros, sem que tenhaa havido de parte dos paizes submettidos a tal controle, a repulsa que essa medida exigia, ferindo como fere a soberania dos paizes neutros.

O desdobramento da questão do petroleo rumaico vae desarticular por completo o plano dos alliados, precipitando o pacto russo-germanico numa verdadeira alliança militar, envolvendo tambem a Turquia numa luta de vida o umorte,obrigando a Italia a quebrar a sua neutralidade belligerante a favor do Reich.

A guerra vae alastrar-se no Continente europeu devido exclusivamente ao jogo dos inctresses inglezes.

O Japão vae exigir da Inglaterra a libertação dos 21 allemães detidos a bordo do «Asama Marú» e talvez seja tambem obrigado a agir nipponicamente, se a Inglaterra quizer entrar com alguma declaração — nota — typo «léro-léro» inglez, tão do desagrado do povo do Sol Nascente, que acima de tudo preza a sua soberania.

アルファア栽培

三、四月が一番よい

今から準備が必要

日本人仲間では、今まで馴染が少いため、一向に關心を持つてゐない作物中、見逃し難いものにアルファアがある。先づ何故にこれが貴重かを一應說明すれば、戰中船と不休に刈取が出來る、又最も家畜に必要な蛋白質の給源として一度植えて置けば十年位もある、日本人の氣心さをこれに振向ければ、決して伯人が謂ふ程困難ではない點

(栽培(條件) としては

先づ第一に土地の性質にある、最も好む土地は、相當土地が粘質を持つこと、これはテラ・ローシヤ、マサツペ等からミストラード(聖市郊外に多い土地)ならば無條件で作り得る、次に土性は極微酸性から、微アルカリ性の範圍を喜び、兎に角い微酸性土は、必ず中和しなければならぬ、新開地よりは、古地を好む點も他作物と大分變つてゐる、

日本人農家向きの栽培には、住居の近くに少面積を栽培するのが最も良いと考へられる、面積を廣くするは專業以外勢して効がない、先づ一段歩もあれば充分數口の豚と馬には十分

(栽培(期) は三、四月と八、九月蒔の二回に分れ、三、四月頃の方が總て便宜が多い、先づミヲヨを探り上げた畑ならば早速これに二、三俵の石灰、又はオラリアの灰を撒布し、充分すき返し、一ケ月ぐらゐ放置、植つけ直前今一回すき返し、グラーデを通して種を播く、普通條播、間隔は三、五十センチ位、種量は歩當二十キロあれば充分すぎる程ある

(根(瘤(菌) 何伯國の新地では外來作物だけに根瘤菌が缺けてゐる、この不便に就いては研究所から種菌が出ることも既報の通り、要は熱意さへあれば充分作り得る

用途はレイトン、乳牛、役馬には絶大な効果を持ち、肉粉油粕類等の購入個料を完全に騙濟するもので、自給自足上不可缺の作物の一つである、人間用の御茶にも良いと伯人は賞つてゐる

(六ノ下)

燃ゆる星座

尾崎士郎 (映画化) 新井五郎

その弟 (十六)

陛下の騒ぎがだんだんほげしくなつたので、由紀子はバヂヤマの上に着物を重ねて下りて來た

「いつたい如何したつていふの？」

「——」

「——」

「姉さん。昨夜はどうして歸らなかつたのです」

由紀子は不意をつかれてハッとして狼狽した視線を向けた先には 元夫のらんらんと燃えた眼がどんな些細なごまかしでも許さんぞといふやうに姉を見凝めてゐた

「會社の、お仕事で、徹夜したのよ」

由紀子は責く立直つてさり氣なく答へた

嘘です。嘘です。あんな會社に徹夜でやる程仕事があるもんか」

「何が嘘です。貴方にどうして會社のことが解るんです」

由紀子も腹を立てたらしく聲が一寸尖つて來た

「僕はK・K・Kプロダクションへ電話をかけて聞いたのですよ、水上雪枝さんは第二回作品にかゝるまでお休みですつて。會社の人がいつてました。——ねや、姉さんは會社の人が嘘をいつたといふんですか？」

「——」

「姉さん。お父さんの名を汚すやうなことをしないで下さい。だから、僕は映畫女優になんぞなるのは反對だつたんだ。姉さん、どんな貧乏したつていゝぢやありませんか。親子四人が仲よく、正しく生きて行けば貧乏してゐたつて決して恥かしいことはないですよ。僕だつて、決して學校へなんぞ行きたくはないんです。姉さんに關係つたことまでさせて僕は學校へなんか行きたくないや。——」

「元夫さん。姉さんを侮辱しないで下さい！」

由紀子はヒステリックに叫んだ

「——姉さんが何をしたつていふんです。子供の癖につまらない心配なんかしない方がいゝわ、そんな暇があつたら學校のことでもしつかりやることだわ。私がいつたい何をしたつていふんです。——」

由紀子は湧き上る涙を袂の端で押拭つた

「元夫さんは何かといへば私に働くことを止めろといふけれど 私が今働くことを止めたら家は如何なると思ふの。人間用の御茶にも良いと伯人は賞つてゐる。

永雨と旱魃

何故御天氣が片よる？

聖州氣象台の話

ブラジルでは何故天候が片寄るか 早魃ともなれば何日でも雨は降らず、降り初める今年の樣に激烈的に降る理由は何處にあるだらうこれに對する測候所側の回答は左の通り

先づ地圖を見てもらふのが最も早分り ブラジルの東は全部大洋に取りまかれてゐる、これと直接影響の無い大陸が接觸してゐることが、一番大きな原因である

それから南部伯國は海岸に沿つて千米以上の山脈が走つてゐるゝ、此れが有名の大陸と、大洋との間に大きな壁を作つてゐる、この三つが、何れも途方もない大規模な關係を、互ひに持つてゐるため、一度ある氣象關係が成り立つと、一寸やそつとで伸々元へ返らない

早い話が蒸氣のために變化した水蒸氣は、海山脈に行く手を阻まれ永い間、内奥に低迷し容易に拔け切れない、今頃の霖雨はアマゾン方面から連續的に大規模に襲られて來る濕氣だと思へば間違ひない、一口にアマゾン流域と言つても廣さは日本全國の五倍もあるる地方、その水蒸だつて少いものではない

次に氣候が追々方向を轉じて奥地の濕度が低くなり、殖アマゾンから南の濕氣が減る頃になるとブラジル沖の濕氣を持つた寒風が吹き初める、聖州奥地は何と云つても緯度、海面上よりは緩いから空氣が輕い、海面の蒸濕氣が來るのは眠明の眠にはいない、この風が冬の風であるが、海岸の高山で持參の濕氣を全部、取り上げられ、乾燥した乾風となつて、完全な乾燥期を生ずるわけ、奥地の乾燥期は、海岸は毎日、露雨だ、半年毎にこれを繰り返すのは、全く氣象要素が大きすぎるため、これがかりは人工でも何とも出來ない

油桐に大敵

フイリッピン群島にルンバン金

今年は日本の金儲け疑ひ無しと、各國から盛んに媚餅を燒いてゐる、綿物か婦人のベストであることは申すまでも無いが、戰時ともなれば軍需品として盛に消耗されることを御存知の向は少い樣子、第一の用途は巨砲の彈を飛ばす火藥袋としては代用品なし、今度歐洲戰が擴大すると共に猛烈なる消費があり、飛行機關係の用途も著明らしい、日本万歳である、それにつけて御茶が沸く訳は現コスタ農相が大の御愛藏であることだ日本は八國、伯國は六國、日本は年四回しか御藏が作れないのに伯國は八回乃至十回、伯國農家は今少し奮發すれば日本程度の生絲生産は難作ない、秋は正に來た、農家よ頑張れ！

お藏さんが日曜も、デアゥサントの別ちなく、又寒夜の別なく桑の葉を喰ふこと桑を植え蠶を飼つて、被衣が充分着物が出來るまで最低三年がところは必要と、伯人農家が認識するまでは、農相の御說教の效果も行方不明となるのではなからうか

農業と悲喜交々

蜜柑の歎、蠶は得意

蜜柑

戰爭の打撃を痛烈に受けた作物は蜜柑に止めをさす、蠶繭品、生活必需品の確保に必死となつてゐる交戰國は、不足勝ちの蜜蜂を伯國蜜柑のために割愛する程の余裕なく、近く出廻期を目前に控へて、柑橘生産地帶は、何として良いものやら、解決方法に思案投げ首の態である、リオ方面の生産品は約半分まではアルゼンチン、ウルグアイ方面が御得意だから未だしも、聖州産は專ら歐洲特に英國市場を目標にして居た上、品種の選定に於ても、英國人の嗜好を中心として統制の强いものだけに南國諸國及び獨內消費が不可能となつてゐる關係もあり、生産額四百万箱以上二万コント以上のものが完全に貨方にちやんとした月給を呉れる動めロでもあるといふ大學を出たつて職が無くて遊んでゐる人の方が多いのとそれに、中學も卒業しない人間に、如何して働き口がありますか。——

元夫は必ずしも自分が正しいと信じてゐる譯ではなかつた。姉に、それやこれ前はお前の好きなやうにやつてご覽と突放されゝば、その日から自分の面倒ことも知つてゐたそこに元夫の惱みがあるのだつた。——

元夫は四五日學校へ出ないで家へ引籠つてゐたが、この間に元夫は眼は凹み、頬はやつれ 可哀想にまるで大病人もした後のやうにすつかり憔悴してしまつた

元夫は不圖田野のことを考へた。田野さんならきつとこの惱みを解決して呉れるだらう、さう考へると元夫は暗中に一道の光明を見出したやうにやゝ元氣づいた

戰爭の飛沫

農經

蜜柑

生絲

一昨年末には千円米國であつた生絲が、今年は二千二百円で飛ぶ樣に賣れる、繼續でも二弗から今年は四弗四十仙と大奔騰、御陰樣で日本は大變びがところは必要と、伯人農家が認識するまでは、農相の御說教の效果も行方不明となるのではなからうか

農家便覽

◇

アルゼンチンに負けるものかもつと淨山肉を賣れ——これはアラニヤ外相の言

◇

メラチニョとブランコは丁度一俵と二俵の割合で取引き豆の話です 變に氣を廻さぬこと

◇

規那樹を四國の南端足摺岬に栽培成功、黒潮の賜かさで出來たキニーネを支那に居る兵隊さんにやると張り切つてゐる

◇

日本の眞似？をしてカンピナス市では食糧品最高價格を制定した、御米は何程、フエジヨンは何程と、違反は勿論罰金

時の科學

ラミー奬勵の裏

佛國が策動中

最近伯國の政府はラミー栽培に大變な熱力の入れ方、苗でも種でもドン〳〵無料で配布する、傍、聖州各地の試作物では政府自ら出馬して栽培して實地指導に當るなど大した力瘤の入れ方だ、リオ市方面では日佛双方から振出で大栽培奬勵を設立も目論まれてゐる有樣

殿因を良く探査したら、日本軍が中南支を占領したため、今まで佛人機業家の手にあつた供給が、完全に日本の獨占ドに陷ちたため、佛人が伯國に新栽培地を求めたものだ此處でも我等の手で獨占したいものだ

戰爭の飛沫

農經

蜜柑

生絲

一昨年末には千円米國であつた生絲が、今年は二千二百円で飛ぶ樣に賣れる、繼續でも二弗から今年は四弗四十仙と大奔騰、御陰樣で日本は大變びがところは必要と、伯人農家が認識するまでは、農相の御說教の效果も行方不明となるのではなからうか

燃ゆる星座

尾崎士郎 (映画化) 新井五郎

その弟 (十六)

陛下の騒ぎがだんだんほげしくなつたので、由紀子はバヂヤマの上に着物を重ねて下りて來た

「いつたい如何したつていふの？」

「——」

「——」

「姉さん。昨夜はどうして歸らなかつたのです」

由紀子は不意をつかれてハッとして狼狽した視線を向けた先には 元夫のらんらんと燃えた眼がどんな些細なごまかしでも許さんぞといふやうに姉を見凝めてゐた

「會社の、お仕事で、徹夜したのよ」

由紀子は責く立直つてさり氣なく答へた

嘘です。嘘です。あんな會社に徹夜でやる程仕事があるもんか」

「何が嘘です。貴方にどうして會社のことが解るんです」

由紀子も腹を立てたらしく聲が一寸尖つて來た

「僕はK・K・Kプロダクションへ電話をかけて聞いたのですよ、水上雪枝さんは第二回作品にかゝるまでお休みですつて。會社の人がいつてました。——ねや、姉さんは會社の人が嘘をいつたといふんですか？」

「——」

「姉さん。お父さんの名を汚すやうなことをしないで下さい。だから、僕は映畫女優になんぞなるのは反對だつたんだ。姉さん、どんな貧乏したつていゝぢやありませんか。親子四人が仲よく、正しく生きて行けば貧乏してゐたつて決して恥かしいことはないですよ。僕だつて、決して學校へなんぞ行きたくはないんです。姉さんに關係つたことまでさせて僕は學校へなんか行きたくないや。——」

「元夫さん。姉さんを侮辱しないで下さい！」

由紀子はヒステリックに叫んだ

「——姉さんが何をしたつていふんです。子供の癖につまらない心配なんかしない方がいゝわ、そんな暇があつたら學校のことでもしつかりやることだわ。私がいつたい何をしたつていふんです。——」

由紀子は湧き上る涙を袂の端で押拭つた

「元夫さんは何かといへば私に働くことを止めろといふけれど 私が今働くことを止めたら家は如何なると思ふの。人間用の御茶にも良いと伯人は賞つてゐる。

永雨と旱魃

何故御天氣が片よる？

聖州氣象台の話

ブラジルでは何故天候が片寄るか 早魃ともなれば何日でも雨は降らず、降り初めると今年の樣に激烈的に降る理由は何處にあるだらうこれに對する測候所側の回答は左の通り

先づ地圖を見てもらふのが最も早分り ブラジルの東は全部大洋に取りまかれてゐる、これと直接影響の無い大陸が接觸してゐることが、一番大きな原因である

それから南部伯國は海岸に沿つて千米以上の山脈が走つてゐるゝ、此れが有名の大陸と、大洋との間に大きな壁を作つてゐる、この三つが、何れも途方もない大規模な關係を、互ひに持つてゐるため、一度ある氣象關係が成り立つと、一寸やそつとで伸々元へ返らない

早い話が蒸氣のために變化した水蒸氣は、海山脈に行く手を阻まれ永い間、内奥に低迷し容易に拔け切れない、今頃の霖雨はアマゾン方面から連續的に大規模に襲られて來る濕氣だと思へば間違ひない、一口にアマゾン流域と言つても廣さは日本全國の五倍もあるる地方、その水蒸だつて少いものではない

次に氣候が追々方向を轉じて奥地の濕度が低くなり、殖アマゾンから南の濕氣が減る頃になるとブラジル沖の濕氣を持つた寒風が吹き初める、聖州奥地は何と云つても緯度、海面上よりは緩いから空氣が輕い、海面の蒸濕氣が來るのは眠明の眠にはいない、この風が冬の風であるが、海岸の高山で持參の濕氣を全部、取り上げられ、乾燥した乾風となつて、完全な乾燥期を生ずるわけ、奥地の乾燥期は、海岸は毎日、露雨だ、半年毎にこれを繰り返すのは、全く氣象要素が大きすぎるため、これがかりは人工でも何とも出來ない

油桐に大敵

フイリッピン群島にルンバン金

今年は日本の金儲け疑ひ無しと、各國から盛んに媚餅を燒いてゐる、綿物か婦人のベストであることは申すまでも無いが、戰時ともなれば軍需品として盛に消耗されることを御存知の向は少い樣子、第一の用途は巨砲の彈を飛ばす火藥袋としては代用品なし、今度歐洲戰が擴大すると共に猛烈なる消費があり、飛行機關係の用途も著明らしい、日本万歳である、それにつけて御茶が沸く訳は現コスタ農相が大の御愛藏であることだ日本は八國、伯國は六國、日本は年四回しか御藏が作れないのに伯國は八回乃至十回、伯國農家は今少し奮發すれば日本程度の生絲生産は難作ない、秋は正に來た、農家よ頑張れ！

お藏さんが日曜も、デアゥサントの別ちなく、又寒夜の別なく桑の葉を喰ふこと桑を植え蠶を飼つて、被衣が充分着物が出來るまで最低三年がところは必要と、伯人農家が認識するまでは、農相の御說教の效果も行方不明となるのではなからうか

農業と悲喜交々

蜜柑の歎、蠶は得意

蜜柑

戰爭の打撃を痛烈に受けた作物は蜜柑に止めをさす、蠶繭品、生活必需品の確保に必死となつてゐる交戰國は、不足勝ちの蜜蜂を伯國蜜柑のために割愛する程の余裕なく、近く出廻期を目前に控へて、柑橘生産地帶は、何として良いものやら、解決方法に思案投げ首の態である、リオ方面の生産品は約半分まではアルゼンチン、ウルグアイ方面が御得意だから未だしも、聖州産は專ら歐洲特に英國市場を目標にして居た上、品種の選定に於ても、英國人の嗜好を中心として統制の强いものだけに南國諸國及び獨內消費が不可能となつてゐる關係もあり、生産額四百万箱以上二万コント以上のものが完全に

生絲

一昨年末には千円米國であつた生絲が、今年は二千二百円で飛ぶ樣に賣れる、繼續でも二弗から今年は四弗四十仙と大奔騰、御陰樣で日本は大變びがところは必要と、伯人農家が認識するまでは、農相の御說教の效果も行方不明となるのではなからうか

新しいサツコ

▲籾用 一〇〇立入(TXI印)一枚 二、九〇〇
▲ミリオ、豆用(B3印) 一枚 二、三〇〇
同 (二二五印) 二、二五〇
(二二五・二印) 二、三〇〇
▲芋用 (〇七印) 二、一〇〇
▲棉用(四アロバー入) 一枚 四、〇五〇
▲マモナ用 一枚 三、二〇〇

珈琲採收用特製サツコ

▲セツテ・フオレゴ印 百拾立入 一枚 七、〇〇〇

全然綴合の無く且つ白地のテント布同樣な丈夫な布で作つてあります、三ケ年の珈琲採收に堪える位に丈夫です

▲珈琲採收用テレー口用布十七號型 米角につき 五、五〇〇
ア・エスペシアル型 四、〇〇〇
セツテ・フレゴ型 米角 六、〇〇〇

時報商事部

理髪職人求む

ビンニエイロス、メルカード前電車通り

サロン聖西

告示

圓紙幣所持者の届出に關する件

客年來我國に於ては一旦海外に流出した圓紙幣の輸入に對し國策上取締を設くることゝなつた處は周知の通りであるが一方當國在留民中には右取締りの實施前に於て單に貯藏の目的を以て圓紙幣を買溜めて居た者も少くない樣であつてこれ等の者は故國訪問歸鄕等の場合種々困難を生ずることゝなり事情諒察すべきものがある、依つて今般帝國政府では此等邦人の歸國に當り其所持する圓紙幣の處置方につき便法採用方考究中の處なるに付右に備ふる爲圓紙幣の所持者は本人又は代理人に於て本年二月末日迄に右紙幣所轄領事館に出頭、係官の指圖を受け所定の形式に從ひ紙幣入手に關する事項を詳細申告せらるゝ樣致し度し

昭和十五年一月二十二日

在サンパウロ 帝國總領事館
在リベロン・プレート 帝國總領事館分館
在リオ・デ・ジヤネイロ 帝國領事館
在バウルー 帝國領事館
在サントス 帝國領事館
在ペレーン 帝國領事館

DR. ALARICO FRANCO CAIUBY
ADVOGADO E
TSUGUO KISHIMOTO
TRADUTOR PUBLICO
E critorio: R. José Bonifacio, 233
3.o and, salas 310/312 - Tel. 2-1137
C. P. 1124 São Paulo

法律一般
辯護
岸本アラシコ

公證辯護人 岸本次男
顧問 アラシコ・フランコ・カユビー
事務所 聖市ウニゼ・ボニファシヨ街二三三番
三階三一〇—三一二號室
郵函一一二四 電話二—一一三七

一、二名

理髪職人求む

ビンニエイロス、メルカード前電車通り

サロン聖西